

## 教育委員会会議の概要（令和4年12月定例会）

- ◆ 日 時 令和4年12月27日（火）午後2時00分から午後3時11分まで
- ◆ 場 所 教育局 第1会議室
- ◆ 出 席 者

教 育 長	福 田 洋 之	出 席
委員・教育長職務代理者	花 渕 浩 司	出 席
委 員	梅 田 真 理	出 席
委 員	川 又 政 征	出 席
委 員	後 藤 由 起 子	出 席
委 員	山 田 理 恵	出 席
委 員	庄 司 弘 美	出 席

### ◆ 会議の概要

#### 1 開 会

#### 2 議事録の承認 10月定例会

#### 3 議事録署名委員の指名 庄 司 委 員

#### 4 報 告 事 項

##### （1）令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における仙台市の結果概要について

（健康教育課長 説明）

##### 資料に基づき報告

山 田 委 員 体力低下についてのニュースを毎年聞いているような気がしており、コロナだけが原因ではないのではとも思う。例えば、10年前、20年前、昭和の時代と比較をした場合、どのくらい低下しているかは把握されているか。また、例えば握力なら何キロあればいいのかなど、数値目標のようなものは国から示されているか。

体力低下に対する取組みとして、1日運動時間10分増とあるが、全国でも同様に10分増を目指しているとしたら、現在全国と比較して10分少ないため、仙台市は20分増としないと全国平均に追いつけないと思う。全国の動きや国としての方向性などは示されているのかも教えていただきたい。

健 康 教 育 課 長 まず、10年前の数値について、今回の資料には掲載していないが、以前の教育委員会で報告した健康実態調査において、体力・運動能力の調査を実施している。その結

果を10年間、20年間といった体系で整理してはないが、10年前の数値がどうであったかなどは、把握している。

また、数値目標についてだが、例えば握力は何キロが目標など、国で具体的、標準的な数値を出しているわけではない。そういったこともあり、令和元年度時点でも体力低下の傾向にはあったと思うが、少なくともコロナ禍前の日常であった令和元年度の数値を目標として掲げ、取り組んでいるところである。

運動時間については、市の調査の中で、コロナ禍前と比較した1週間の運動時間を検証しており、その結果から1日の運動時間10分増という目標を本市独自に出しているものである。他の都市等での目標などは把握していないが、10分間増という目標は本市独自のものである。

山田委員 運動時間10分増の件だが、資料の中に全国平均より1日平均で約10分少ないことから、1日の運動時間10分増を目指すと書いてある。つまり、全国平均との比較から出している目標値だと思われるが、いかがか。

健康教育課長 全国平均と比較して本市の運動時間が10分少ないため、10分増という目標を本市独自でつくったものである。

山田委員 全国的な動きとして、文科省が国の方針として運動時間をもう少し増やすように出していたりはするの。つまり、仙台市が10分増やしたとすれば、全国平均に追いつくことができるかなど、事前に検証しておいたほうがいいのではないかと思う。

また、10年前などと比べ、どのくらい結果が違っているか。

健康教育課長 小学校では平成30年度がピークであり、令和4年度の男子の体力合計点の数値は平成19年度頃と同じくらいである。年によって差はあるが、平成19年度以降向上していき、平成30年度に一番高くなったが、その後はコロナ等もあり急激に下がっている状況である。

これは中学校においても概ね同様で、平成30年度から令和元年度にピークとなり、その後下がっている。昭和まで遡ればもっと高い数値が出ているときもあるかもしれないが、手元にある過去の資料としては、平成18年度、19年度あたりと比較し、そのような結果となっている。

山田委員 ずっと下がってきていると思ったが、一度上がってから下がったということか。

健康教育課長 全国の結果でも概ね同様であり、平成20年度頃から上がり、平成の終わり頃にピークを迎え、コロナ等もあり下がってきている。

山田委員 その原因は書いてあるか。

健康教育課長 全国のものではあるが、主な背景として、スクリーンタイムの増加とそれに伴う授業以外での運動時間の減少が理由とされていた。

山田委員 数値が上がっていったときの要因は何であったか。何か努力をして上げたわけではないのか。

健康教育課長 国の資料にはないが、同じ内容での全国調査が始まったのが平成20年度であり、各学校等においても、体力という部分をかなり明確に意識して取り組むようになったことが、理由の一つとしてあると思う。

山田委員 本当の理由があまりよく見えない。仙台市も全国と同様に下がってきているが、それに対して、例えば平成30年度のピークなのか、全国平均を上回る数値なのか、どこを目指していくべきなのか。また、本当の原因がどこにあって、それに対して何をするのが一番効果的なのかをもう一度検討いただければと思う。

教 育 長 どうしても直近の状況だけで考えがちだが、もう少し長い期間の動きを見たらうで、  
どうしていくかを考えることは非常に大事だと思うので、そのような視点でもこれから  
見ていければと思う。

梅 田 委 員 体育の授業以外で1日の運動時間を10分増やすとあるが、どこの時間でどのように  
増やしていけるのか。例えば昼休みや休み時間があるが、これから寒くなってくる時  
期でもあり、外で遊ぶことが好きな子もいるが、寒いな、嫌だなと感じる子どもが  
いて当然だと思う。体育館を開放するとか、ちょっとしたスペースで運動ができるよ  
うにするとか、そういったことだけではなく、どんな子でも楽しんで体を動かしたり、  
遊んだりするような、各学校での仕組みづくりが必要になってくると思う。

そのあたりは事例集なども作成されていると思うが、こういったものを作成しても、  
それを読み、やってみようと現場の先生方が思えなければ何も始まらない。学校でや  
らなければならないことが増えてきている中、1日10分をどう増やしていくかはす  
ごく難しいことだと思う。そのあたり教育委員会としても、そもそもの学校の遊びの場  
所づくりや、体を動かしたくなるような仕組みづくりについて、工夫していただき  
たいと思っており、もし何か取り組んでいることがあれば教えていただきたい。

また、世の中には運動が好きな子だけではなく、例えば運動は苦手だがプログラ  
ミングは好きといったように、いろいろなことが好きだったり苦手だったりする子ども  
たちがいる。もちろん、運動が好きな子は好きでいいし、苦手な子も楽しく体を動か  
せるようにしてほしいと思うが、結果だけを見て、学校現場がこうでなければなら  
ない、ここを目指すのだという形になってしまうと、どこかでひずみが出てしまう気  
がするので、子どもたちは多様だということをも十分理解いただいているとは思  
うが、そのあたりも含め、現場に伝えていただきたい。

健 康 教 育 課 長 運動時間10分増については、今の委員の発言にもあったが、学校における取組みを  
事例集としてまとめている。例えば冬期に学校で行われている軽運動として、先生が  
作成した運動の動画を校内のテレビ放送で流し、5分から10分程度の運動タイムを  
実施していることなどを紹介している。ほかにも、2校時から3校時の少し長めの  
休み時間を利用した業間マラソンや、運動のポイントを学べる動画を作成している  
ことなどを紹介している。こうした取組みの紹介とともに、ご意見のあったとお  
り、立てた目標を強制することなどないよう意識しながら、体力向上の取組みを  
進めていきたい。

## (2) 野村学校給食センターの次期事業について

(健康教育課長 説明)

資料に基づき報告

## 5 付 議 事 項

### 第 33 号議案 令和6年度仙台市立高等学校入学者選抜方針について

(高校教育課長 説明)

資料に基づき説明

花 渕 委 員 選抜日程はいずれも令和6年3月ということでもいいか。

高 校 教 育 課 長 令和6年の実施で、今の中学2年生が受験するものである。

花 淵 委 員 昨年もお尋ねしたが、電子出願はできないものか。昨年は、県が実施していないため難しいという話であったが、何とか電子出願の対応をしていただきたい。おそらく、市の職員採用試験や教員採用試験も電子出願になっていると思うので、そうしたシステムを使用できれば、学校の先生方の負担も減るような気がする。

高 校 教 育 課 長 県の教育委員会とは導入について継続して検討しているところであるが、電子出願にするための初期費用等がかなり高額になるということで、受験料等の値上がり等の必要性も考えられることから、慎重に検討している。具体的にいつからとのお答えはできないが、今後も引き続き県と協議を重ね、導入に向けた検討を行いたい。

後 藤 委 員 追試験の対象者の記載にある、やむを得ない事由というのは、どのようなことを想定しているか。

高 校 教 育 課 長 新型コロナウイルス感染症等により受験できなかった者について、追試験を実施することを想定している。

後 藤 委 員 第一次募集の実施日が3月5日で追試験が8日だとすると、間隔があまりないので難しいときもあるのかなと感じる。例えば体調がある程度戻ってきて、個別に隔離した教室で受験できるといった対応をしていただければ、この日程でも大丈夫だろうと思うが、その辺りはどうか。

高 校 教 育 課 長 インフルエンザはもとから当日別室対応となっている。入試の日程に関しては、高校の卒業式が3月1日金曜日になることから、第一次募集を5日火曜日に実施し、追試験を8日金曜日、合格発表を14日木曜日としており、第二次募集に関しては21日木曜日に実施する方向で検討している。これらの実施日などについては、仙台市中学校校長会からの委員や本市教育指導課長が委員となっている高等学校入学者選抜審議会に諮問した上で答申を受けている。また、年度ごとの日程は固定ではなく、高校の卒業式や入試後の事務処理日程の確保、合格発表から二次募集までの中学校による受験生への指導日程の確保など、様々な観点で検討し設定しているが、非常に多岐にわたる意見をいただいております。追試験までの日程が短いのではないかという意見もいただいていた。来年度の受験においては、委員から指摘いただいた問題等も発生すると思うが、受験生並びに保護者に丁寧に説明をしながら、お示しした日程で実施したいと考えている。

後 藤 委 員 日程についてはある程度仕方がないと思うが、別室受験について、インフルエンザ以外にも様々な事情を抱えた受験生がいると思うので、なるべく広く認めていただくと子どもたちはありがたいと思う。また、二次募集のこともおっしゃっていたが、保護者の立場からすると、一次募集が終わって進路が決まっていない状況は全然話が違うので、最初の第一次募集で、事情を抱えた受験生が様々な形で受験できるよう配慮いただきたい。

高 校 教 育 課 長 重ねて協議をしてまいりたい。

原案のとおり決定

#### 第 34 号議案 令和6年度仙台市立中等教育学校入学者選抜方針について

(高校教育課長 説明)

原案のとおり決定

第 35 号議案 教育功績者の表彰について

(総務課長、教職員課長 説明)

原案のとおり決定

6 閉 会